

## 社長メッセージ：AI 時代における幼児教育の価値

※本内容は、当社代表取締役社長 山下 孝一 が契約園向けに発信している「セミナーニュース」に掲載した内容を一部抜粋・編集したものです。AI 時代における幼児教育の役割や人間教育の重要性についての考えを通じて、当社の教育理念をご紹介します。

当社代表取締役社長の 山下 孝一 は、55 年以上にわたり全国の幼稚園・保育園を訪問し、多くの教育現場に接してまいりました。私財を投じ、人生をかけて園を創設された園長先生方が、それぞれの建学精神のもと、こどもたちの未来を見据えながら教育・保育に取り組まれている姿を数多く見てきました。

私立の幼稚園・保育園には、それぞれ独自の教育方針があります。こどもの成長にとって最善の教育であると信じ、卒園後も社会で活躍できる人材に育てほしいとの願いを持って教育が行われています。卒園生の活躍を耳にした際には、「園を創って良かった」「続けてきて良かった」という喜びを感じる先生方も少なくありません。

また、創立以来の教育理念を大切に受け継ぐ園がある一方で、時代の変化に合わせて進化を続ける園もあります。不変の価値と変化への対応、その両方が教育には必要であると考えています。

近年、AI 技術は急速な発展を遂げています。社会や産業のあらゆる分野で AI やロボットの活用が進み、人間が担っていた仕事の多くが AI によって補完される時代が到来しようとしています。知識の習得や情報収集、問題解決の場面では、AI が迅速かつ正確な答えを示すことが可能となり、その進化は今後さらに加速すると考えられます。

山下 孝一 は、AI 時代だからこそ幼児教育の価値がより重要になると考えています。

「AI は知識や技術を提供することはできても、人を育てることはできません。こどもたちは日々の生活や遊び、仲間との関わりの中で、考え、決断し、挑戦し、失敗から学びながら成長していきます。こうした経験によって育まれる力は、近年「非認知能力」や「生きる力」と呼ばれているものです。

もし人間が常に AI の示す答えに従うだけになれば、自ら考えることや決断すること、新しいことへ挑戦することが少なくなるかもしれません。しかし、人間らしい成長や発展は、自ら考え、決断し、挑戦する過程の中から生まれます。こどもたちが挑戦と失敗を繰り返しながら成長していく姿こそ、教育の本質です。

『人生において大切なことはすべて〇〇園で学んだ』と言ってもらえる教育、人間の土台作りの教育が必要不可欠です。そして、心の教育、人間学、非認知能力の育成こそが、将来の社会において一層重要になる教育の価値です。」と語っています。

当社は創業以来、こどもたちの心身の健全な成長を支える教育活動に取り組んでまいりました。今後も変化する社会環境の中で、こどもたちの「生きる力」を育む教育の実践を通じて社会に貢献してまいります。

本内容は、当社の教育理念および社会的価値についてご理解いただくためにご紹介するものです。少子化や社会環境の変化が進む中においても、当社は教育現場との信頼関係を基盤として、これからもこどもたちの成長を支える価値あるサービスの提供に努めてまいります。